平成 28 年４月６日

各　位

会 社 名　株式会社タカラレーベン
代表者名　代表取締役社長　島田　和一
（コード番号　8897　東証第一部）
問合せ先　取締役　執行役員経営企画室長
北川　智哉
（TEL 03－5324－8720）

LS 那須那珂川発電所竣工に関するお知らせ

～日本初となる、特別高圧規模メガソーラーへの小型分散型パワーコンディショナーを採用～

当社は、栃木県那須郡那珂川町にて建設を行っておりました LS 那須那珂川発電所（栃木県那須郡那珂川町の旧ゴルフコース）の竣工式を行いました。当該発電所の竣工により、当社のメガソーラー発電施設の稼働は 21 施設となりました。

平成 25 年にメガソーラー発電事業に参入して以来、自然エネルギーを活用した事業を積極的に推進してまいりましたが、自然エネルギーを活用した事業の更なる発展及び拡大を目的として、メガソーラーによる発電施設を中心に投資を行う投資法人を設立し、上場を目指しておりました。先般、当社の100％子会社であるタカラアセットマネジメント株式会社が資産の運用を受託する「タカラレーベン・インフラ投資法人」が発行する投資口について、平成 28 年４月４日に、株式会社東京証券取引所のインフラファンド市場への上場承認を得ております。今後も、当該事業を積極的に展開してまいりたいと考えております。

【LS 那須那珂川発電所の概要】

１．事 業 者：株式会社タカラレーベン
２．建設場所：栃木県那須郡那珂川町三輪
３．敷地面積：約 40 万㎡
４．設備規模：太陽電池出力 19.8MW（太陽電池モジュール 165W/枚×120,000 枚）
　　パワーコンディショナー 15MW（20KW×750 台）
５．発電出力：15MW
６．想定年間発電量：約 21,000,000kWh（一般家庭約 3,700 世帯分の年間消費量に相当）
７．想定年間 CO2 排出削減量：約 11,000t

※太陽電池モジュールはソーラーフロンティア株式会社、パワーコンディショナーはデルタ電子株式会社、EPC は日立造船株式会社となっております。

本事業は、発電量の増大を目指すことはもちろん、特別高圧規模のメガソーラーでは日本国内で初めて小型分散型パワーコンディショナーを採用することにより、初期投資およびランニングコストの低減を図るとともに、故障時の発電量喪失におけるリスク分散も行っており、また基本的に造成工事を行わ

ない環境にやさしい設備設計を行っております。特別高圧受変電設備を栃木県内で生産するなど、地域貢献にも配慮しています。

具体的な特徴は以下のとおりです。

１．安定した発電

影・高温に強いCIS 薄膜型太陽電池モジュールを最大限活用した集積配置を行い、発電効率を高めるとともに、南北方向に土地勾配があっても安定した発電量が得られる設計となります。

２．ランニングコスト・リスクの低減

特別高圧規模のメガソーラーでは日本初となる小型分散型のパワーコンディショナーを採用しています。

一般的にゴルフコースでは各コースの広さが異なり、設置できる太陽電池モジュール枚数にばらつきが発生するため、従来のセントラル型パワーコンディショナーでは効率的な配置に限界がありました。そこで、本事業では小型分散型パワーコンディショナーを設置することでこの課題を解決するとともに、故障時リスクを低減（予備と交換することにより即日解決）し、ランニングコストの低減を図りました。

３．環境負荷の低減

太陽電池モジュール配置エリアでは造成工事を行わないことを基本に、1本脚杭方式基礎構造を採用しました。これにより、東西方向アレイ段差が極めて小さい構造を実現するだけでなく、杭打設本数は既存方式と比較して半分以下となり、工程短縮や環境負荷低減に寄与しています。

【完成写真】



以　上